

雫石町には、さまざまなスタイルの宿泊施設があります。どのような宿泊施設があるのか知ることで、より充実した滞在を楽しむことができます。

ホテル

スノースポーツが目的の方は、スキー場に近いかが第一条件かもしれません。大規模なホテルの中には、利便性を重視したものがあります。洋式のベッド、専用のバスルーム、好きなものを好きなときに食べられるなど、自分でスケジュールを決めたい人にはメリットがあります。

しかし、現地の人々との交流を大切にしたい方には、他にもいくつかの選択肢があります。

ペンション

個人経営の小さなホテルや旅館で、洋風の内装が特徴です。ペンションとは、フランス語で「下宿屋」を意味しますが、ベッド&朝食のスタイルに近いものです。部屋には、ベッド、クローゼット、テレビなどがあり、バスルームは他の宿泊者と共同で使用するのが一般的です。ペンションによっては、リラックスして交流するための共同ラウンジがあり、紅茶やコーヒーメーカー、ゲストが読むための本などが用意されていることもあります。朝食は含まれていますが、夕食はプランに応じて選択することができます。食事は地元の食材を使った洋食が中心となります。

ペンションの魅力は、オーナーの趣味やスタイルに合わせて、それぞれに個性があることです。インテリアも、シンプルで居心地のよいものから、エレガントでモダンなものまでさまざま。オーナーが自慢のギターを展示していたり、パリに留学していたホストのフランス料理を堪能したりすることができます。

雫石のペンションには温泉はありませんが、地元には日帰り入浴ができる施設がたくさんありますので、そちらをご利用ください。慣れ親しんだベッドや洋食が好きだけど、地元の家族のもてなしを受けてみたいという人には、ペンションは最適な滞在先といえるでしょう。

旅館・民宿

どちらも日本式の宿泊施設で、主な違いは大きさです。日本の伝統的な宿といえば、旅館を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。建物は歴史的なものもあれば近代的なものもありますが、内装は日本の伝統的なデザインが施されています。おもてなしの心を大切にし、最高のサービスでお客様をお迎えします。

民宿も同じ日本のスタイルですが、より小さくシンプルで、より家庭的な雰囲気があります。民宿の意味は「人々の宿」であり、一般的には家族の家にゲストを受け入れることを意味しています。民宿は、主に雫石のような地方の小規模な地域にあります。

どちらの宿でも、寝るときは布団を敷き、食事は和食が中心となります。ほとんどの宿泊施設では、朝食と夕食の両方を提供しており、地元の新鮮な食材を使った料理が豊富に用意されています。特に旅館では、その家の自慢の料理がメニューに並ぶことが多いです。宿泊客は畳の上に座り、低いテーブルで食事をするのが一般的ですが、洋風の椅子とテーブルを用意している宿泊施設もあります。夕食の片付けが終わると、頼まなくてもスタッフが布団を敷いてくれます。それは、お客様のニーズの先読みを大切にしている為です。

雫石では、旅館にも民宿にも日本式のお風呂があります。地元の温泉を使用しているところも多いですが、旅館のお風呂の方が豪華で、種類も複数ある場合もあります。しかし、旅館でも民宿でも、日本の伝統的な生活、旬の食材、そして温かいお風呂を体験することができます。